



林野庁図書館ニュース

発行: 林野庁図書館資料館

TEL: 03-3501-0964



しいたけの原産地表示が変わります



しいたけの栽培は大きく分けて、自然に近い条件で育てる原木栽培と、施設内で栽培する菌床栽培の2つの栽培方法があります。原木栽培では、原木に穴をあけて種駒を埋め込み栽培し、菌床栽培では、おが屑にふすま、ぬか類、水等を混合しブロック状や円筒状に固めた培地に種菌を植え付けて菌床で栽培します。

いずれの場合も、しいたけの「畑」とも言えるほど木や菌床の製造された場所と、しいたけを収穫した場所が異なる場合があります。近年は、海外から輸入された菌床から育てたしいたけを国内で収穫し、国産として出荷する例も増えてきており、このような海外で生産された菌床由来のしいたけと、国内で生産された菌床由来のしいたけを消費者が区別することができない状況となっていました。

このような中、消費者により正確な情報を提供するため、消費者庁が令和4年3月に食品表示基準Q&Aを改正し、「しいたけは栽培管理上、菌糸が培地の中に伸張するまでの培養初期段階の環境が子実体の形成に大きな影響を及ぼすと考えられているため、原木(ほだ木)又は菌床培地に種菌を植え付けた場所(植菌地)を原産地とする。」との考え方を示しました。

しいたけのふりごりがわかりやすくなりました!!

原木しいたけ
ほくらしいたけは、クヌギやコナラ等、里山の広葉樹材からできているんだ。

① 里山で伐採したクヌギやコナラを...
② 切り揃えて
③ しいたけの種駒を打ち込む(植菌) 約1年間おかせて...
④ 収穫!

菌床しいたけ
① おが屑にして水や糞分を混ぜ
② しいたけの種駒を培養して...
③ しいたけの種駒を培養して...
④ 収穫!

パーパス
令和4年3月30日から、ほくらのふりごりの表示は、**原産地=植菌地** になったんだよ。

ちなみに、原産地に××国、取組地に△△県となっている場合は、海外で植菌された菌床から育てたしいたけを、△△県で収穫したということなんだ。

しいたけを産ぶときは、ぜひ、原産地表示を見てね。

山の上で、樹木を伐採して、山を下りて、おが屑を山に捨てる人は、山を壊す。山を壊すと、しいたけは産べない。

イラスト：平田美紗子(林野庁職員)



生産者の皆様へ

令和4年3月30日、消費者庁の食品表示基準Q&Aが改正され、しいたけについて、原木又は菌床培地に種菌を植え付けた場所(植菌地)を原産地として表示することが示されました。生鮮しいたけは令和4年9月末までに、しいたけ加工食品(原材料に占める重量割合が最も高い原材料がしいたけである加工食品)は令和5年3月末までに表示の切り替えをお願いします。詳しくはこちら↓

https://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/kinsho_shiitake_hyoji.html



林野庁図書館からのお知らせ

10月は『木材利用促進月間』です!

林野庁図書館の森林・林業・木材産業を描いた漫画やイラストをぜひご活用ください♪
林野庁では、木材を利用することの意義を広め、木材利用を拡大していくための国民運動として、『ウッド・チェンジ』を合言葉に「木づかい運動」を展開しています。関連するイベントや図書館などの企画展示に漫画・イラストデータの提供をしております。ご使用を希望される方はお気軽にお問い合わせください。



イラスト：平田美紗子(林野庁職員)



展示例 左：木材利用推進シンポジウム 右：田原本町立図書館『森と木と暮らし展』

漫画・イラスト

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/manga.html>



新着図書・注目図書のご案内

林野図書資料館では、定期的に図書資料を購入しております。新着の図書や注目図書の一部をご紹介します。紹介した図書資料は、館内新着棚若しくは書架に配架しております。是非、ご来館いただきご利用ください。



NEW

タイトル：**森林を活かす都市の木造化推進法**
 著者名：盛山正仁・鈴木憲和
 出版社：大成出版社
 内容要約：脱炭素社会を実現するための建築物の木造化の推進。建設分野のカーボンニュートラルの推進のための施策への理解！！公共建築物・民間建築物を含めた施策と我が国における2050年までの脱炭素社会の実現へ向けての理解。
 (2022年7月発行)



NEW

タイトル：**世界の森からSDGsへ
一森と共生し、森とつながる**
 著者名：柴田晋吾
 発行：上智大学出版
 発売：ぎょうせい
 内容要約：「森と共生し、森とつながる時代」を築くための新たな知見と実践手段
 “20世紀が「森から遠ざかる時代」であったとすれば、21世紀は「森とつながる時代」である」と説く著者が、SDGsの実現に向けた森と人々との共生や、森林環境に対処する考え方と取り組みについての幅広い知見を提供する。
 (2022年7月発行)



注目!

タイトル：**森と木と建築の日本史**
 著者名：海野 聡
 出版社：岩波書店
 内容要約：衣食住から信仰に至るまで、日本の歴史とは、木とともに歩んだ歴史であるといっても過言ではない。森のめぐみを楽しんだ先史時代、都城や寺院などの大量造営が展開した古代から、森との共生をみざす現代まで——建築のみならず流通にも着目し、また考古・民俗・技術などの知見も駆使して、人びとが育んだ「木の文化」を描く。
 (2022年4月発行)



注目!

タイトル：**新しい世界の資源地図
エネルギー・気候変動・国家の衝突**
 著者名：ダニエル・ヤーギン
 訳者名：黒輪篤嗣
 出版社：東洋経済新報社
 内容要約：原油価格はなぜ激しく変動するのか？米中関係はどうなるのか？地政学とエネルギー分野の劇的な変化によって、どのような新しい世界地図が形作られようとしているのか？地政学リスクから第一人者が読み解く『ウォール・ストリート・ジャーナル』ベストセラー。
 (2022年2月発行)



図説

タイトル：**空から見る日本の地すべり 山体崩壊**
 著者名：八木浩司・井口 隆
 出版社：朝倉書店
 内容要約：日本各地・世界の地すべり地形・山体崩壊を、1980年代から撮影された貴重な空撮写真と図表でビジュアルに解説。斜面災害を知り、備えるための入門書としても最適。
 (2022年3月発行)



地球

タイトル：**カーボンニュートラルをめぐる世界の潮流
政策・マネー・市民社会**
 著者名：白井さゆり
 出版社：文真堂
 内容要約：本書は、「政策」「マネー」「市民社会」を3つの柱に、カーボンニュートラルの世界はどのようなものなのか、サステナブルファイナンスの動向と課題、企業に期待されるESG経営、欧州・中国・米国・日本の動向、グリーン金融政策や金融当局による気候変動への取り組みについて考察。カーボンニュートラルに向けた世界の潮流の全体像を捉えた必読書。
 (2022年7月発行)



キノコ

タイトル：**誰かに話したくなるキノコの不思議な世界**
 編集：大海 淳
 出版社：大和書房
 内容要約：森、海辺、路傍の生きものたちと共生する魅惑の菌糸たち、日本で見られる97種の野生のキノコの世界。フィールドでのおもしろエピソードや日本人がキノコに親しんできた歴史や説話とともに、菌類の個性的で不思議な生態を紹介します。
 (2022年2月発行)



キノコ

タイトル：**素晴らしき、きのこの世界
人と菌類の共生と環境、そして未来**
 編著者名：ポール・スタメツツ
 訳者名：杉田 真・武部 紫
 出版社：原書房
 内容要約：革新的で感動的な映像で話題のドキュメンタリー映画を完全書籍化！菌類研究の権威が各ジャンルの専門家たちとともに語る「きのこの世界」を、極彩色の美しい写真とともにたどる。
 (2021年12月発行)

連絡先：林野庁 企画課 林野図書資料館（国立国会図書館支部林野庁図書館）
 代表：03-3502-8111（内線6060）ダイヤルイン：03-3501-0964
 HP：<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/index.html>

